

The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

2学期に入り、学園祭も大盛況に終わり、いよいよ受験シーズン到来です。松江東高校では、9月26日に「大学入学共通テスト」の出願・発送を完了しました。就職・公務員・専門学校の総合型選抜などすでに試験を終えた3年生もいますが、多くの方はここから3月末までの長い戦いが始まります。これまでやってきたことを信じて、最後まであきらめずやり切ってください。

共通テスト出願状況

(現3年生) 40期 176人 (90.3%)

39期 150人 (92.0%)

38期 171人 (90.5%)

松江東高校では約9割の3年生が共通テストに出願しています。

3年生 2学期の進路関係

▼学生募集要項の確認！

7月～8月に各大学・学部在学生募集要項・入試要項が出ます。ここで、募集人員や受験科目・配点、出願期間や試験日程などが正式に示されます。すべて各大学のホームページにアップされます。(冊子になってない大学が多い) 各大学・学部学科のアドミッション・ポリシー(求める学生像)をよく確認してください。

ほとんどの学校でweb出願になっています。学校でのチェックはできませんので、すべて自らの責任で出願することになります。不備があつて受験できない場合も自らの責任になります。(大人として扱われるということです) 早めに各大学のホームページを確認してください。

10月から大学入試が本格化します。総合型選抜から始まり、推薦入試、一般入試と同じ大学・学部・学科でも様々な入試形態があります。自分の実績や学力に見合った入試方法を考えていきましょう。

1年生 2学期の進路関係

▼進研実力テストがあります。11月6日(水)

3科目です。7月に続き、全国で40万人以上が受験する大規模なものです。入学以来学習したことを再確認しておきましょう。

▼島根大学、島根県立大学訪問

先日行われた大学訪問はいかがでしたか。大学の中に入って、どんな授業や研究がおこなわれているのか、進路選択の参考になりましたか。

▼進路講演会があります。

高校卒業後の進路や将来を考える機会にしてください。文理選択に迷っている人も考える良い機会になると思います。

▼進路検討会があります。

12月11日(水)・12日(木)皆さんの文理選択や希望進路の適性について、成績状況やこれまでの取り組みなども踏まえて検討します。

2年生 2学期の進路関係

▼東京研修

高校生活の中でも思い出に残る行事です。大学や企業訪問等を行います。

▼いよいよ 6教科の実力テスト スタート

11月6日(水)・7日(木)実施。これまでに加え、地歴・公民と理科が加わります。

▼進路講演会があります。

高校卒業後の進路や将来を考える機会にしてください。進路に迷っている人も考える良い機会になると思います。

▼進路検討会があります。

12月16日(月)・17日(火)皆さんの進路希望の確認や適性を現状の成績状況やこれまでの取り組みなども踏まえて検討します。

▼共通テストでは「情報」の試験があります。

「令和7年度大学入学共通テスト実施大綱」が文部科学省から示されました。今年度からは、下表の出題となります。

教科	出題科目	試験時間
国語	『国語』	90分
地理 歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(再掲)	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	70分
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	70分
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
外国語	『英語』	【リーディング】80分 【リスニング】30分
情報	『情報Ⅰ』	60分

東高生の進路希望状況（1学期）

1学期に行われた進路希望調査の結果です。各学年とも85%以上の生徒が、第1志望に国公立大学への進学を考えています。大学の募集人員は国公立大学が2割、私立大学が8割と、国公立大学は狭き門です。国立大学は受験科目も多く、学力重視の傾向は続いています。目標を定めたら、その実現に向けて計画的に学習に取り組んでいきましょう。

	1年生	2年生	3年生
国公立大学	85.7%	87.4%	85.1%
私立大学	3.1%	7.6%	9.8%
短大・専門学校	4.6%	3.5%	4.1%
就職・公務員	3.6%	1.5%	1.0%
その他・未定	3.0%	0%	0%

下の表は、過去5年間の卒業生の進路状況です。(進路先)

	39期生	38期生	37期生	36期生	35期生	平均
国公立大学	33%	42%	32%	24%	36%	33.2%
私立大学	40%	31%	42%	40%	36%	37.5%
短大・専門学校	16%	16%	18%	24%	16%	18.0%
就職・公務員	1%	3%	3%	3%	1%	2.0%
他(浪人含む)	10%	8%	6%	10%	13%	9.5%

希望と結果は大きく違っています。第1志望校に合格した先輩方の特徴がいくつかあります。その代表的なものを挙げておきますので、参考にしてみてください。

- ・総じて志を高くもち、日々の積み重ねを大事にした人です。(これは部活動もおなじです)
- ・早めの志望校設定と最後まで志望を変えない。(志望の一環性)
- ・定期試験やETCの結果にこだわる。(東高の定期試験結果と共通テストの結果には強い正の相関があることが確認できています。相関係数0.7以上！)
- ・学校を休まない。(第1志望校合格者は欠席・遅刻がほぼない)
- ・家庭学習時間が安定している。(学習時間調査を見ると、日ごとの凸凹が少ない。やらない日がない)
- ・学校に残って学習している。(定期試験前や3年生になってから、放課後学校で勉強していた人が多い)

▼推薦入試について

松江東高校では、例年25%~30%の生徒が推薦入試を受験します(指定校推薦を含む)。高校入試の推薦選抜とは違い、倍率が3~7倍あり、東高生は出願者の70%程度が毎年合格していますが、校内の厳しい選考を通った生徒も全員が合格できるほど甘くはない入試です。

大学が示す基準に加えて、各高校でどういった生徒を推薦するかの基準をもっています。成績に関する事、探究活動や部活動、ボランティア活動などの取り組みと実績、出席に関する事など、多面的に評価し、大学での学びについていけるかを会議において審議します。各大学からも慎重な選考を求めるよう文書が届きます。ミスマッチを起こすと、大学も高校も何より受験生本人にとって不幸な進路になってしまうことがあります。日々の学習に真摯に取り組んでいきましょう。

東高では、出席(遅刻、早退も)状況、成績、ETCの取り組みと合格実績、授業中の様子や課題提出の状況、さまざまな活動の取り組みと実績を総合的に判断しています。

次号では総合型選抜について書いてみます。